

2008年6月16日

中国木材株式会社
三菱商事株式会社

国内最大規模の木質系バイオマス専焼オンサイト発電事業開始

中国木材株式会社と三菱商事株式会社がそれぞれ50%出資する、「神之池バイオエネルギー株式会社」の木質系バイオマス専焼発電所(神之池バイオマス発電所)が完成し、6月16日(月)に竣工式ならびに竣工披露祝賀会を開催しました。同竣工式、竣工披露祝賀会には、橋本茨城県知事、保立神栖市長を始め数多くのご出席を頂きました。

神之池バイオエネルギー株式会社は、隣接する中国木材株式会社鹿島工場から製材・乾燥加工工程で発生する副産物をバイオマス燃料として発電事業等を行います。この神之池バイオマス発電所は、バイオマス燃料の発生地点と極めて近い為、運搬等によるエネルギーロスも最小で、環境に対する負荷もほぼ理想的に押さえられている発電所であります。

発電所の出力は、21,000kwで、バイオマス専焼の発電所としては国内最大規模で、今回の発電事業により、温室効果ガスである二酸化炭素の排出削減効果は、原油換算で、中国木材株式会社の電力・蒸気需要分及び隣接工場の蒸気需要分を合わせて約39,500キロリットル、余剰電力分として約21,600キロリットル、総計61,100キロリットル/年となります。

なお、本事業は経済産業省より、新エネルギー等事業者支援対策費補助金の交付を受けており、国の二酸化炭素削減施策に対する効果も期待されています。

中国木材株式会社は、従来、住宅構造材国内最大のメーカーとして主に米松構造材を住宅市場に供給して参りましたが、近年、国産スギ等国産材資源の活用にも注力し、その経済価値を高めるだけでなく、森林の整備を含めた持続的活性化と温室効果ガス削減にも大きな貢献をしています。

三菱商事株式会社は、地球環境に配慮しない企業は存続しえないとの認識に立ち、企業活動を通じて地球環境の保全と改善に努力し、持続可能な発展を目指しています。

また、「オンサイト発電事業」を戦略分野と位置付け、ユーティリティ(電力・蒸気)調達のアウトソーシングを目的とし、SPC(オンサイト発電事業会社)を顧客毎に設立する形で、今後も更なる拡大を目指します。

以上

神之池バイオエネルギー株式会社 概要

1. 出資金 : 100 百万円
(中国木材株式会社 50%、三菱商事株式会社 50%)
2. 設立日 : 平成 17 年 7 月 11 日
3. 本社所在地 : 茨城県神栖市東深芝 2 番 18
4. 総事業費 : 約 45 億円

事業概要

1. 発電出力 : 21,000kW
2. 発電燃料 : 木材樹皮(バーク)、生オガ、乾燥オガ
3. 消費燃料量 : 約 220,000t(年間)